

【TTA 別紙 1】

緊急雇用創出事業（震災対応事業） 「復興へ 頑張ろう！ みやぎの企業振興 国際人材育成活用等事業」  
（様式 1） 応募申込書/事業計画書/事業概要/目的 一般財団法人 東北多文化アカデミー（TTA）

\*エデュケーション・ツーリズムに習熟した

## 多文化研修コーディネーター育成事業

一般財団法人 東北多文化アカデミー（TTA）

\*エデュケーション・ツーリズム(訪日者向け短期日本研修)とは、海外の高校生・大学生と引率者及び家族を対象とした教育目的を持った日本滞在中で、期間が概ね 3 日～90 日のもの

この事業の目的は、\*エデュケーション・ツーリズムの業務体験とその習熟(OJT)及び関連知識技能の習得(OFF-JT)を通じて、海外教育機関と国内教育機関の多文化間研修をコーディネートできる教育産業分野の国際人材を育成することである。

震災後、中国を筆頭とするアジア諸国からの観光客は原発の事故の影響を大きく受けて激減したが、一年半を経過して、少しずつ戻りつつあった。しかし、日本周辺各国との領土問題に端を発した反日感情の中で、日本留学を希望する学生の数も、ふたたび頭打ちになる傾向が見え始めている。こういった状況を打開するには、まず休暇等を利用した短期体験研修にできるだけ多くの学生を招致し、宮城県を含む日本の状況を正しく知ってもらい、帰国してから、学生自身が実感し、理解した情報を現地に伝えてもらうことが肝要である。

震災以前から長期留学の下見、日本語学習、観光を兼ねた短期留学の需要は増えており、TTA がこれまで実施した仙台大学留学生、秋田大学留学生、上海同济大学留学生等への短期研修トライアルは高い評価を得た。一方で、政治的な国同士の対立はともかく、民間レベル、大学レベルでの交流を、こういう時期だからこそ継続していかなければならない、という声も、日本のみならず、海外の関係者の中でも決して少なくはない。短期研修修了者が将来私費留学生として地元の教育機関に授業料等を納付し、消費活動を行ない、親族等が観光に訪れる経済効果を考えると、きっかけとなる短期研修には少子化時代の留学生招致ビジネスとして大変重要な発展性がある。また一部の留学生は将来日本でグローバル人材として就職することも十分考えられ、質の高い海外人材の確保は国の施策・震災後の産業界のニーズにも合致している。今後の国内外でのそうしたニーズを支える多文化研修コーディネーターの役割は、今後ますます重要になるものと考えられる。